

折戸忠作文庫

昭和36(1961)年11月に逝去された折戸忠作のご遺族から、個人の遺志によって愛読書が寄贈された。学徳を記念して、その尊名を冠して昭和37(1962)年1月に文庫を設立した。

折戸は、本学開講当初から英米文学科で文法学を担当。ボストン日本人学生会名簿にも記載があり Tufts College, Harvard (1919)に留学していたらしい。

愛読書の中心は、ラフカディオ・ハーンやラルフ・ワルド・エマーソンなどの英米文学の資料が多いが、イギリスの哲学者ハーバート・スペンサーやドイツの詩人フリードリヒ・フォン・シラーなどの著作も見られる。図書192冊を収蔵している。